

主な仕様

PROTECVIEW SCANNER

オープン価格

型式	PDNJ001A-H
煙検出濃度範囲	0.005 ~ 2.0 %/m(減光率) 10段階LED表示
検出方式	総散乱光受光方式
本体外形寸法	195 (W)×320 (H) ×125 (D)mm
質量(本体)	約2.8kg
電源	リチウムイオン二次電池
動作時間	バッテリー満充電で約8時間連続動作(at25°C)*1
材質(本体) / カラー	合成皮革 / ネイビーブルー
音響	ブザー内蔵

*1:バッテリーが新品時の値です。

●VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会)の技術基準に適合しています。

付属品



室内の異常発煙を常時監視する設置型システム。
『超高感度煙監視システム PROTECVIEW』(別売り)

対象室内の気流を常時吸引し、異常発煙を早期に検出。
PROTECVIEW SCANNERと連携して運用することで
より早期に異常発煙を検出、発煙箇所特定ができます。



ご注意

- 本製品は発煙箇所搜索の補助ツールであり、発煙箇所特定を保証するものではありません。
- 当社以外の超高感度煙センサ設置エリアでは、検出感度が異なるため使用できません。
- 本製品はNTTコミュニケーションズグループとの共同特許を取得しています。
- 当社は本製品およびその使用方法に関する特許を取得しています。
- PROTECVIEWおよびPROTECVIEW SCANNERは当社の登録商標です。

⚠ 安全に関するご注意

- 室内搜索時には安全のため防煙マスクの着用をお願いします。
- 安全のため、ご使用前に「取扱い説明書」をよくお読みいただくか、当社にご相談のうえ正しくお使いください。

- 大切な防災システムのメンテナンスは当社にご依頼ください。
- このカタログに掲載された製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。
- このカタログの記載内容は2025年2月現在のものです。

お問い合わせは

NOHMI 能美防災株式会社

本 社 / 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL.(03)3265-0211(代)
環境システム事業部 TEL.(03)3265-0233

URL <https://www.nohmi.co.jp/>

250228©-F-13606MS2

発煙箇所搜索の、新たな進化形。



PROTECVIEW SCANNER



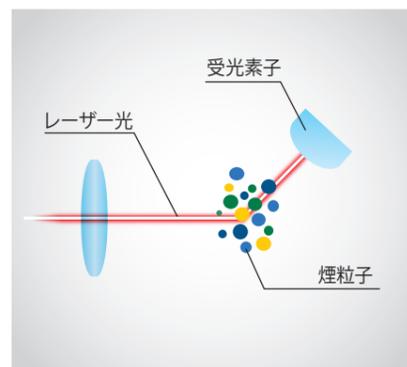
PROTECVIEW SCANNER

PDNJ001A-H
オープン価格

発煙箇所捜索に特化した革新機能を、コンパクトボディに凝縮。

PROTECVIEW SCANNER(プロテックビュー スキャナー)は高性能ファンによりサンプリングノズルから煙粒子を吸引。目視困難なレベルの煙粒子を超高感度の精度で検出、リアルタイム表示することで発煙箇所の捜索作業をサポートします。

発煙箇所捜索に特化した独自のテクノロジー



超高感度の煙粒子検出機能を搭載

煙検出方式には、長年培ってきた独自の超高感度センシングテクノロジーを採用し、目視困難なレベルでの初期発煙検出を実現しました。



対象物に合わせて可動できるサンプリングノズル

サンプリングノズルは上下左右約360°可動できます。対象物に合わせて様々な角度で使用することができます。



感度レンジ変更機能を新搭載

発煙箇所捜索中の室内状況に応じて変更可能な3モードの感度レンジを新搭載しました。
(Normal/Low/Highモード)

ショルダースタイル採用により、限りなく広がるフィールド

PROTECVIEW設置エリアにおける発報後の発煙箇所捜索 Normal/Lowモード

超高感度煙センサ(PROTECVIEW)発報時の煙。初期検出レベルの煙は、室内の空調気流により薄められてしまうため、早期の発煙箇所特定が困難な場合があります。PROTECVIEW SCANNERを捜索ツールとして使用することで、発煙箇所の絞り込みを可能としました。



サーバールームでの使用例

●実際の捜索時には、防煙マスクの着用をお願いいたします。

受配電盤など電気設備の異常過熱による発煙捜索 Highモード

受配電盤設備などにおける、異常発煙の初期段階では熱分解生成物による微粒子が発生します。このような設備における点検では、充電部への接触などの危険を伴うケースがあります。PROTECVIEW SCANNERは、目視困難なレベルの粒子を盤排気部・扉の隙間などから検出することで、日常点検での異常早期発見を安全にサポートします。



受配電設備での使用例

レベルメーターによる直感的な異常判断

煙粒子の検出濃度に応じて10段階のレベルメーターが点灯。リアルタイム表示により、直感的な異常判断を可能としました。

